

未来のまちづくり推進特別委員会記録
【速報版】

令和8年4月20日開会

速報版

- ・この会議録は録音を文字起こしした初稿のため、誤字脱字がある場合があります。
- ・正式な会議録が作成されるまでの暫定的なもののため、今後修正されることがあります。
- ・正式な会議録が掲載された時点で速報版は削除されます。

横浜市会

開会時刻 午前10時00分

◎ 開会宣告

- 東みちよ委員長 これより委員会を開会いたします。

◎ 調査・研究テーマ「つなぐーイノベーション推進と循環型経済のための多様な連携促進」について

- 東みちよ委員長 まず、議題に入ります。

調査・研究テーマ、つなぐーイノベーション推進と循環型経済のための多様な連携促進についてを議題に供します。

なお、本日はオブザーバーとして、都市整備局、経済局及び行財政局の関係職員にも御出席いただいておりますので、御了承ください。

初めに、本日の委員会の進め方を御説明いたします。

まず、地域政党よこはま、前回御説明いただけなかったことがありましたので、行政視察について、山田委員より御報告をいただきたいと思います。

次に、本委員会の中間報告書案を御確認いただき、中間報告書として確定したいと考えておりますので、よろしく願います。

それでは、行政視察の報告ですが、資料1を御覧ください。

視察月日等は記載のとおりでございます。

それでは、山田委員から御報告をお願いいたします。

- 山田桂一郎委員 私は、岡山市のほうを訪問いたしまして、窓口となっておりますが産業観光局の創業支援・雇用推進課というところでございました。ももたろう・スタートアップカフェというところを視察いたしました。

事業の概要としては、岡山の経済成長の担い手として期待をされますスタートアップの創出及び成長を目的に、JRの岡山駅すぐの商業施設にスタートアップ支援拠点として、通称ももスタというものを設置しております。毎週イベントプログラムが開催をされております。起業家、あるいは起業の志望者の交流の場になっており、岡山市は、ももたろう・スタートアップカフェを中心としたスタートアップ・エコシステムの形成を目指しているところでございます。

通称ももスタは、官民連携の支援組織5者、岡山市、中国銀行、トマト銀行、おかやま信金、商工会議所で運営をしております、運営事務局が岡山市となっております。スタートアップの様々な委託事業を実施をしております、ももスタ以外にも、エコシステム、成長支援、次世代の育成、先進技術社会実証支援等も委託をしているところであります。

スタートアップを支援した理由としては、社会課題や地域課題を解決したい起業家の志望者が地方は多いのですが、地方の課題として、コミュニティがない、チーム人材もない、資金調達環境が弱いということがございますものですから、自分が地方に生まれ育ったからできない、こういう状況をなくしていきたいというのが背景にあります。

そこで、岡山県にスタートアップの花を咲かせるために、その土壌づくりをするのが行政の役割と考えら

れて、岡山版のスタートアップ・エコシステムの形成をしております。ももスタを通じて、イベントや事業成長促進プログラム等、支援拠点として、この地域では広く認知をされているところであります。私が訪問したお昼前後も、非常に多くの若者がガヤガヤ集っておりまして、活気のあるところなんだろうなということを感じました。

ももスタ事業の強みとしては、相談室というのを常設しておりまして、独立系のベンチャーや起業家が平日常駐し、メンターとして志望者や起業家をサポートをしているところであります。また、起業にまだ関心のない層から、起業準備期、資金の調達期、成長発展期、こういうステージに合わせたフォローもやっているのが強みであろうかと思えます。スタートアップ支援拠点として、先ほど申しましたように相談室を常設し、独立系ベンチャーや起業家が平日常駐してサポートする取組は、今後企業化を目指す方々に心強い援軍であるなと思えました。また、成長期に合わせたフォローアップも、きめ細かな支援策として参考になった次第であります。

行政として、あくまでもきっかけづくりに岡山市は徹しておりまして、イベント、交流、シンポジウム等々の開催を通じ、多くの若者の皆さんに参加をしていただき、交流を深めながら顔の見える関係をつくっていくというところに力を入れておるところでございます。

翌日が岡山大学、国立大学法人でありますけれども、こちらのイノベーション共創機構の産官学連携をやっている共創イノベーションラボというところを訪問をまいりました。

こちらは、岡山大学の研究成果を自治体、民間と共に活用して、社会課題解決や社会変革のイノベーションにつなげるということが目的で設立されております。非常に立派な5階建ての新設ラボが今年建設されておりまして、多様な産学官の方々が集う場であり、実験、分析を行う場であり、また連携を通じアイデアを創出する場という役割を担うところであります。実験用ラボやオフィスは、企業にも入居促進をしているところも特徴でありまして、特に最上階の5階のイノベーション創出フロアというところは、新たな発想、アイデアが生まれる場として、工夫が凝らされております。

岡山におきましては、先の見えない時代、5年、10年後、どんな姿になるのか、ビジョンを追求して、イノベーションの創出を目指してまいりたいと。DXサンライズおかやまというのがありまして、産学官11人で連携をしておりまして、DXの伴走支援及びデジタル人材の育成をしているところでございます。こちらに関しましては、岡山大学が実施するのが特徴的であります。

それから、おかやまデジタルイノベーション創出プラットフォーム、これは岡山大学と県が共同で設置をしておりまして、専属のコーディネーター3名を配置し、産学官でマッチングをしております。生まれた事例としては、オカネツ工業というところのAI搭載の自律走行草刈り機、AIが草刈り機を自由自在に動かすというものらしく、岡山理科大学のロボット工学の教授が横滑りの防止も開発して、それに搭載していると。200万円という非常に高額な製品であります。河川敷で大活躍をし、直販体制を確立しているところが特徴でございます。

大学がどのように地域社会へ貢献できるのか、イノベーション創出の取組を実施しているところが特徴的でございます。実験段階から実用に移行して、先ほど申しましたAI搭載型の草刈り機などは、十分ビジネスとして注目されているところであり、今後も様々な実証実験から新たなビジネス展開ができるのではないかと期待をされておりました。横浜市立大学でも同様の取組ができれば面白いのではないかと思いつつ視察を終わりました。

以上です。

- **東みちよ委員長** 御報告ありがとうございます。

ただいまの御報告につきまして何か御質問等ありましたらお願いいたします。

(「なし」と呼ぶ者あり)

- **東みちよ委員長** 特に御発言もないようですので、行政視察の報告についてはこの程度にとどめます。

次に、資料2を御覧ください。

こちらは、本委員会の1年間の活動経緯や議論の内容等をまとめた中間報告書案でございます。中間報告書につきましては、委員長名をもちまして議長に提出することとされております。御覧いただいている案文につきましては、これまでの委員会活動の内容を基に正副委員長で取りまとめいたしました。

まず、中間報告書案の概要につきまして、私から御説明いたします。

中間報告書の構成につきましては、過日の委員会でお諮りしたとおりでございますが、まず、2ページ目には、付議事件、調査・研究テーマ、テーマ選定の理由を記載しております。また、活動内容・意見等については、2ページから15ページにかけて記載しております。

なお、15ページの(5)にございます本日の委員会の概要等につきましては、後ほど追記いたします。

続いて、16ページから17ページにかけまして、これは5としてまとめを記載しております。まとめの要点となる部分に下線を引いておりますので、その部分を中心に、私から御説明いたします。

本市では、イノベーション推進や循環型経済の実現に向け、多様な主体が対話しながら課題解決に取り組むエコシステムを形成するプレーヤーが増加するとともに、具体的な成果事例が出てきているところです。

一方で、エコシステムの形成をより強力に推進するためには、従来の縦割り行政を超えた横断的な推進体制の整備が求められます。加えて、異なる立場の人々を結びつけることができる人材とともに、技術や法務、財務、知財などの専門分野に精通した人材の育成確保も求められます。また、市民や関係者に本市の取組が伝わるよう、広報の強化、交流の場づくりを通じて、参加の裾野を広げることも重要です。こうした取組により、現在のエコシステムの効果を最大化し、より多くの成果を生み出していく体制へと転換する必要があります。

さらに、これまでの取組を一層加速させていくためにも、開催まで1年を切ったGREEN×EXPO 2027において本市の取組を国内外に発信し、イノベーションによって生まれた成果や循環型経済に向けた取組を社会実装につなげていく大きな契機とすべきです。今後は、都市計画、産業育成、資源循環といった政策領域を横断的に結びつける体制の整備、プラットフォームの連携強化、都市部、臨海部におけるイノベーション推進の郊外部への波及などにより、エコシステムを持続的に発展させることで、イノベーションの創出、循環型経済の推進、そして活力あるまちづくりの実現につなげていくことができるよう、より一層の取組を期待すると結んでおります。

私からの説明は以上でございます。

この案をもちまして、中間報告書として確定したいと考えておりますが、委員の皆様方から何か御意見等がございましたらお願いいたします。

(「なし」と呼ぶ者あり)

- **東みちよ委員長** 特に御発言もないようですので、この案を本委員会の中間報告書として、委員長名をもちまして議長宛てに提出いたしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

- **東みちよ委員長** 御異議ないものと認め、さよう決定いたします。

なお、中間報告書の字句の整理等につきましては、正副委員長に御一任いただきたいと思います。また、確定した中間報告書は、改めて委員の皆様へ配付いたしますので、よろしく願いいたします。



◎ **当局代表挨拶**

- **東みちよ委員長** 以上で本日の議題は終了いたしました。本日が本構成による最終の委員会になるかと思われ、本委員会へ中間報告書を提出するに当たり、御出席いただいております都市整備局、経済局及び行財政局から所感を願いたいと思います。

まずは、都市整備局から願います。

- **松本企画部長** 都市整備局を代表いたしまして御挨拶申し上げます。

東委員長、磯部副委員長、伊藤副委員長をはじめ、委員の皆様方におかれましては、この1年間、つなぐーイノベーション推進と循環型経済のための多様な連携促進をテーマに、まちづくりの観点から御議論いただきましたことを厚く御礼申し上げます。本報告書でいただきました御意見などを踏まえ、関係する各部署と共に、研究教育機関、チャレンジする企業、地域に暮らす住民など、多様な主体との連携を図りながら、経済の力強いサイクルが生み出されるまちづくりにしっかりと取り組んでいきたいと考えてございます。

委員の皆様におかれましては、今後ともより一層の御指導、御支援を賜りますよう、よろしく願います。簡単ではございますが、御挨拶いたします。1年間ありがとうございました。

- **東みちよ委員長** ありがとうございました。

次に、経済局から願います。

- **甘粕ビジネスイノベーション部長** 経済局を代表いたしまして御挨拶申し上げます。

東委員長、伊藤副委員長、磯部副委員長をはじめ委員の皆様方におかれましては、この1年間、つなぐーイノベーション推進と循環型経済のための多様な連携促進をテーマに、スタートアップの成長支援や産学官連携といった観点からも御議論をいただき、厚くお礼を申し上げます。

本報告書でいただきました御意見などを踏まえ、関係する各部署をはじめとして、企業や大学、研究機関、市民の皆様など、イノベーション創出に関わる様々な主体の皆様とより一層の連携を図ってまいります。多くの皆様にスタートアップ・エコシステムに御参画いただくことで、新たな産業を創出し、横浜経済の持続的発展につなげることができるよう取組を進めてまいります。

また、GREEN×EXPO 2027におきましても、そうした取組から生まれてきた成果などを発信していくことができるよう考えていきたいと思っております。今後とも、より一層の御指導、御支援を賜りますようよろしく願います。1年間ありがとうございました。

- **東みちよ委員長** ありがとうございました。

続いて、行財政局からも願います。

- **喜多共創・ファシリティマネジメント推進室長** 行財政局を代表いたしまして、一言お礼申し上げたいと思います。

東委員長、伊藤副委員長、磯部副委員長をはじめ委員の皆様方におかれましては、本市のイノベーションの

推進と循環型経済に関する貴重な御提言をいただきまして、本当にありがとうございました。本報告書でいただきました御意見などを踏まえまして、庁内の各部局とも連携をし、循環社会や共生社会の実現に向けた共創事業やオープンイノベーションの推進に向け、産学官民一体となって取り組んでまいります。

委員の皆様方には、今後とも一層の御指導、御支援を賜りますようお願い申し上げます。1年間、誠にありがとうございました。

- 東みちよ委員長 関係部局の皆様、本当にありがとうございました。

◇

◎ 正副委員長代表挨拶

- 東みちよ委員長 それでは、正副委員長を代表しまして、私からも一言、御挨拶申し上げたいと思います。

今年度は、未来のまちづくり推進特別委員会、全く新しい特別委員会で、皆様と共にゼロから新しいテーマを調査研究するという産みの苦しみを共に共有できたかと思っております。委員の皆様、そして担当職員の皆様、本当に御協力、御尽力ありがとうございました。

つなぐーイノベーション推進と循環型経済のための多様な連携促進ということで、未来のまちづくりに向けて連携促進は欠かせないと思っております。高齢化社会、人口減少、様々なまた今は経済的不安も重なっておりますが、様々な不安、課題が今後押し寄せる中で、市として、行政として、どうそれを突破していくかということは、やはり行政だけでなく、大学、官民連携、そして私たち議員もそのエンジンとして、つなぎ役として求められているということを非常に痛感した委員会でもありました。

今回の委員会では、事業所管から説明を聴取するとともに、民間ではCCC、カルチャ・コンビニエンス・クラブ株式会社、あるいは大学、横浜市立大学共創イノベーションセンターへの市内視察を実施し、委員の皆様からも貴重な御意見をいただきながら委員会活動を行うことができました。このたびは、磯部、伊藤両副委員長をはじめ、委員の皆様方の御協力によりまして本委員会の中間報告書を提出する運びになりましたことを心より感謝申し上げます。

本構成による議論は、中間報告書の提出をもちましてひとまず終了という形になりますが、複雑化する社会課題に対し、先ほども申しましたが、多様な主体が連携を通じて成果を創出する、そのためにもエコシステムを持続的に発展させ、イノベーションの創出、そして循環型経済の推進、活力あるまちづくりの実現につなげていく必要があると思います。本委員会の中間報告書を踏まえた取組を進めていただくことを皆様にも要望いたしますと同時に、私たち議員もこのつなぎ役として、今回のつなぐテーマ、つなぎ役として、しっかりと尽力してまいりたいと思います。

最後になりましたが、円滑な委員会運営に御協力いただきました委員の皆様並びに当局の皆様へ、重ねて感謝申し上げます。正副委員長を代理しての挨拶といたします。本当にありがとうございました。

◇

◎ 閉会宣告

- 東みちよ委員長 以上で本日の議題は全て終了いたしましたので、委員会を閉会いたします。

ありがとうございました。

閉会時刻 午前10時21分